



# THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF  
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「全ての世界に出て行こう」 “Go Ye Into All the world”
スローガン	「エクステンション、エクステンション、エクステンション」 “Extension, Extension, Extension”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia One World”
西日本区理事主題	「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。」
スローガン	「経験がワイズを育みます」
中部部長主題	「長所を活かして生き生きと!」
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを!」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club!”
会長：澤瀬 諭，副会長・会計：川村孝治，書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句：あなたがたはこの世に倣<sup>なら</sup>ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心<sup>みこころ</sup>であるか、何が善いこと<sup>よ</sup>で、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。  
ローマの信徒たちへの手紙 12章2節

## 2014年4月強調月間

### YMCAサービス、ASF

YMCA、ユースとの1年を総括し、次年度に活かしましょう。

正野 忠之 Yサ・ユース事業主任 (大阪河内クラブ)

<p>☆☆☆4月第一例会案内☆☆☆</p> <p>金沢YMCA主催“たけのこ掘り体験”に参加</p> <p>日時：4月29日(火・祝)10:00~15:00</p> <p>会場：北陸学院大学の三小牛キャンパス</p> <p>会費：2000円(予定)</p> <p>準備：竹中君</p> <p>***プログラム***</p> <p>*下記プログラムは金沢犀川クラブ用に仮に設定した もの。実際には金沢YMCA企画プログラム(たけのこ 掘り、たけのこ料理、ゲームなど)により進行。</p> <p>司会：北君</p> <p>開会・点鐘：澤瀬会長</p> <p>ワイズソング：一同</p> <p>今月の聖句：司会者</p> <p>ゲスト紹介：司会者</p> <p>今月のハッピーバースデー：澤瀬会長 平口君(4日)</p> <p>食前の感謝：三谷君</p> <p>— 会食 —</p> <p>事業委員報告：各委員</p> <p>ニコニコタイム：川村君</p> <p>閉会・点鐘：澤瀬会長</p>	<p>☆☆☆3月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会] 3月13日(木)19:00~21:00、卓話 「特別名勝“兼六園”はこんなにおもしろい~大名庭園の庭づくりが教えるもの~」森永壽久氏(石川県夕日寺健民自然園 園長)、参加者：朝井悦夫氏、今堀秀二氏、片岡衝氏、北充子さん、島村守一氏、島村令子さん、福塚理恵さん、川村君・北君・澤瀬君・澤瀬メネト・竹中君・平口君・三谷君、以上15名。[第二例会]3月27日(木)19:00~21:00、金沢YMCA集会室、参加予定者：川村君・北君・澤瀬君・竹中君・三谷君。</p> <p>金沢クラブへの中部部長公式訪問 4月17日(木)。 第3回西日本区役員会 4月19日(土)~20日(日) ホテルクライトン新大阪、参加予定者：平口中部部長。</p> <p>今月の聖句について この世に学ぶべきことや習うべきことはいろいろあるけれども、無分別に模倣してはいけない。日常に埋没し、惰性的に生きるのではなく、日々、心新たに御言葉に耳を傾け、何が神の御心にそったことなのかをわきまえて生活しなさい。このように聖句は論している。(平口)</p> <p>5月の当番 司会：竹中君、準備：平口君 *例会に使用済み切手をご持参ください。</p>
---	--

当クラブ	3月出席者	3月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	メン 6名	100%	前月繰越切手 2,549g	前月累計 63,571円
広義会員 0名	メネット 1名		3月分切手 117g	3月 13,600円
功労会員 1名	ビジター 0名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 8名		切手 2,666g	
			現金 0円	
合計 6名	15名	100%		累計 77,171円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

### ◆ 3月第一例会に参加して ◆

川村 孝治

3月13日(木)の3月第一例会では、金沢城・兼六園管理事務所で長く所長をなさっていた森永壽久氏(現・石川県夕日寺県民自然園 園長)に兼六園について色々な角度からお話していただきました。

兼六園絵巻と現在の園とをユーモアを交えて比較したり、園名の由来(宏大・幽邃・人力・蒼古・水泉眺望を兼ね備えた園)を詳細に説明したりなど、園を熟知された方だけに大変感心させられる内容でした。歴史的遺産を活用した公園として公開されてから140年ですが、今や公園というよりも石川県最大の観光施設です。しかし、入園割合は地元民が3割にも満たないのが現状です。兼六園は地元の我々のシンボルであり誇りでもあります。県民が本当に観ているのか、どのように造られてきたかをよく理解できているのか、この庭が現代の我々に教えてくれる大切なことをわきまえているのか、心もとない気がします。

1回の説明では十分には理解できませんので、あと2、3回、卓話をお願いしたいものです。



### ◆ 中部部長公式訪問 ◆ 名古屋クラブ 3月第一例会参加報告

中部書記 北 肇夫

名古屋クラブ 3月第一例会は3月11日(火)名古屋YMCA 代官町会館で開催。平口中部部長の公式訪問として、金沢犀川クラブからは3名が澤瀬会長の愛車で出掛けた。快晴に恵まれ、白山はその名のとおり真っ白で神々しく輝いていた。途中、名神高速道路で夕刻のラッシュによる渋滞も心配したほどではなく、例会の開会には、ゆとりをもって会場に到着できた。

例会は、平野実郎ワイズによる手馴れた司会により進められた。恵美奈博光ワイズ(大阪サウスクラブ)による卓話「ミャンマーの生活と現地で見える民主化への動き～ボランティア活動を通して～」は、現地滞在6年の経験を踏まえ、蘊蓄のある興味深い内容であった。

名古屋クラブの皆さん、特に川口恵会長には、終始お気遣いと温かいおもてなしをいただいた。帰路も深夜の高速道路を経て、無事、帰宅した。安全運転に心がけてハンドルを握られた澤瀬会長に感謝!



### ◆ 金沢 YMCA “わいわい農園” 今期報告 ◆

地域奉仕・環境事業委員長 北 肇夫

2013年度に開始された金沢YMCA“わいわい農園”事業の発端、目的、参加資格、栽培方針などについては、ブリテン7月号で紹介しておいた。また、収穫については前号で速報している。本稿では、やや詳しく経緯を報告したい。

北陸学院大学・三小牛キャンパスの「わいわい農園」設置箇所は、小学校体育館の隣接地で、春に「たけのこ掘り体験」を実施した箇所の手前に位置している。その農園には、小学校の各クラスや大学のサークルに畝が割振られていた。金沢YMCAに割振られた畝は、当初2畝だったが、秋野菜の植付け時には倍の4畝となり、畝幅1.2m、長さ約10mとなった。

現地での作業はつぎのとおりである。

- ①6月2日、有志により農園の伐根、除草、耕運、畝立て、施肥、マルチングなどを行い、「金沢YMCA わいわい農園」の看板を立てた。
  - ②6月4日、有志によりサツマイモ(五郎島金時)の葉挿し、枝豆(茶豆の香り姫)や落花生の種子播き、切花用の球根(タリアやグラジオラス)の植込みを行なった。
  - ③その後、7～10日毎に点検や除草など。近くに散水栓が設置されているので、管理作業には最適な環境にある。また、除草作業は、通常、農園管理に多くの時間が費やされるが、今回、ビニールマルチングの敷設が省力化に役立った。しかし、両隣の農地からのつる性雑草(ヤブガラシなど)には、手を焼いた。
  - ④秋の収穫を大いに期待して農園管理に努めたが、収穫直前にサツマイモが謎の消滅をしたので落胆した。
  - ⑤秋の収穫跡地では、耕運・畝立てなどの作業の後、冬野菜の植え付けや播種などの作業を行なった。
  - ⑥冬野菜の収穫作業は、2月20日(木)に有志5名で除雪をしながら作業、その日に皆さんに配布した。
- 今後、植付作業や収穫時には学童たちとの交流も企画し、都合がつく会員で日常管理をし、事業目的にそって、皆さんに楽しんでいただければと思う。

### ◆ “ご縁”と“摂理”(3) ◆

平口 哲夫

人と人との良い出会いをしたときに、「ご縁ですね」とか、「これをご縁によりお願いします」とか挨拶をします。その出会い、またはその出会った結果が感銘的であればあるほど、その出来事は単なる偶然ではなく、それには何か不思議な力が働いているように感じるものです。その不思議な力が、仏教徒にとっては仏様のお導き、キリスト教徒にとっては神様のお導きとして感じられるのでしょうか。また、その体験が信仰の道に入るきっかけになる場合もあります。

“ご縁”と言うとき、それは単なる因果応報ではなく、自己選択可能な未来志向を持っているように思えます。“ご縁”は、変えようのない運命や宿命ではなく、なんらかの超越的な存在からの「お導き」に相應る自覚や自立を促すのではないのでしょうか。(つづく)

《金沢YMCAのホームページ》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>